

令和3年度事業計画

令和2年度事業が新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響により延期、中止を余儀なくされたことに鑑み、令和3年度は、各事業においてコロナ禍においても実施できるよう、リモート技術の活用等の対策を講じ、併せて情報発信の強化につなげる。

また、感染症の影響による社会変化や時代の趨勢などを把握、検討し、次期中長期計画を策定するための「協会のあり方検討委員会」を設置する。

なお、経済状況が厳しい中、限られた財源ではあるがより一層創意工夫するとともに、特定費用準備資金制度を活用して、収支予算の平準化に努める。

1. 顕彰事業

(1) コスモス国際賞

花の万博の「自然と人間との共生」という理念に合致する研究活動や業績を顕彰する2021年のコスモス国際賞（第28回）事業を実施する。また、第29回目となる2022年コスモス国際賞の準備を進める。

(2) BIEコスモス賞

博覧会国際事務局（BIE）が実施し、当協会が協力する「BIEコスモス賞」については、「2020年ドバイ国際博覧会」（感染症により2021年に延期開催）において実施する。

(3) 全国花のまちづくりコンクール

花の万博を契機に、「花とみどりの国づくり及びまちづくり」（提唱：農林水産省及び国土交通省）を目的として創設された「花のまちづくりコンクール」については、推進協議会に参画し、実施する。

2. 助成・協働事業

(1) 花博自然環境助成事業（調査研究、活動・行催事、復興活動支援）

花の万博理念の継承発展及び普及啓発に資する「調査研究」、「活動・行催事」及びに被災地における「復興活動支援」のため、公募により助成事業を実施する。

(2) 地域協働事業

助成事業成果発表会と市民活動団体等の交流を目的とした「花と緑の交流広場」（呼称：「自然と人間との共生フェスタ」）については、感染症対策を施し、実施形態を整理した上で実施する。

3. 普及啓発事業及び国際交流事業

(1) 次世代育成事業

協会事業に関係する学者、知識人等を講師として小学校へ派遣する「小学校講師派遣事業」及び、幼・保育園児に自然に親しむ機会を提供する「鶴見緑地昆虫クエスト大作戦」については、感染症の対策を施し、慎重な運営により実施する。

(2) 都市緑化推進運動等への協力事業

都市公園の整備、民有地の緑化により都市における豊かな生活環境の実現を目的とする「都市緑化推進運動」、及び住民参画のもと創意・工夫を生かしたまちづくり推進を目的に実施される「まちづくり月間」に協力する。

(3) 普及啓発事業

花の万博開催の地元である大阪で開催される「大阪都市緑化フェア」や「はならんまん」などの普及啓発イベントに協力するとともに、みどりのまちづくりに貢献する美しい景観となっている建物や緑化活動を表彰する「みどりのまちづくり賞」に参画する。

また、「コスモス国際賞受賞記念講演会」を東京、大阪で一般や高校生を対象に、オンラインも導入し実施する。

当協会設立 30 周年記念事業として催事等を実施する他、2025 年関西・大阪万博の機運喚起と街の緑化をめざした「万博の桜 2025」を前年度に引き続き、実行委員会事務局として、PR や寄附の受け入れ等を進める。

情報発信については、引き続き情報誌『KOSMOS』の刊行を行うと共に、「小学校講師派遣事業」「自然観察教室」に係る講義の動画を収録し、ソーシャルメディアにて活用する他、児童向けのコスモス国際賞受賞者読本の作成、配付などを行う。また、引き続き、花の万博資料や当協会の蓄積情報をアーカイブとしてのデータベース化を進める。

(4) 国際交流事業

台湾の自然の保護、研究の状況を知る「国際バーチャル自然見学ツアー in 台湾」を、日台を WEB でつなぎ、実施する他、現地での事業再開に向けて調査、検討する。

4. 調査研究・資料収集事業

生物多様性等に関する調査

花の万博の理念継承に資する生物多様性の保全や、動植物の生息地や保存等に関する情報収集等を行う。

また、過年度助成団体等との連携や、協会事業に沿った企業の SDGs やメセナの取り組みを調査し、協働の方策を検討する。

令和3年度収支予算書（損益計算方式）

令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	4,200,000	2,760,000	1,440,000	
特定資産運用益				
記念基金受取利息	225,800,000	217,240,000	8,560,000	
受取寄付金				
受取寄付金振替額	4,000,000	4,000,000	0	
経常収益計	234,000,000	224,000,000	10,000,000	
(2) 経常費用				
事業費	189,984,470	180,983,180	9,001,290	
役員報酬	8,400,000	8,400,000	0	
給与手当	35,797,000	35,788,500	8,500	
法定福利費	6,693,000	6,771,500	△78,500	
退職給付費用	1,742,070	1,795,880	△53,810	
賃金	1,484,000	1,482,600	1,400	
職員厚生費	158,400	159,300	△900	
会議費	2,003,400	2,079,700	△76,300	
旅費交通費	6,569,502	7,745,670	△1,176,168	
通信運搬費	2,719,848	2,729,690	△9,842	
消耗什器備品費	105,000	70,000	35,000	
委託費	37,394,350	28,644,350	8,750,000	
消耗品費	987,000	3,300,500	△2,313,500	
修繕費	0	609,000	△609,000	
印刷製本費	1,066,800	1,084,300	△17,500	
光熱水料費	2,520,000	2,520,000	0	
賃借料	4,353,300	4,552,800	△199,500	
使用料	2,424,100	2,354,100	70,000	
諸謝金	5,955,950	5,970,650	△14,700	
負担金・会費	9,600,000	10,660,000	△1,060,000	
助成金支出	16,410,000	13,120,000	3,290,000	
租税公課	42,000	44,800	△2,800	
手数料	467,600	465,500	2,100	
賞金支出	42,500,000	40,000,000	2,500,000	
保険料	217,000	217,000	0	
雑費	374,150	417,340	△43,190	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
管理費	72,995,530	71,166,820	1,828,710	
役員報酬	3,600,000	3,600,000	0	
給与手当	31,953,000	31,966,500	△13,500	
法定福利費	5,617,000	5,623,500	△6,500	
退職給付費用	1,557,930	1,604,120	△46,190	
賃金	636,000	635,400	600	
職員厚生費	141,600	140,700	900	
会議費	858,600	891,300	△32,700	
旅費交通費	2,815,498	3,319,570	△504,072	
通信運搬費	1,165,652	1,169,870	△4,218	
消耗什器備品費	45,000	30,000	15,000	
委託費	16,026,150	12,276,150	3,750,000	
消耗品費	423,000	1,414,500	△991,500	
修繕費	0	261,000	△261,000	
印刷製本費	457,200	464,700	△7,500	
光熱水料費	1,080,000	1,080,000	0	
賃借料	1,865,700	1,951,200	△85,500	
使用料	1,038,900	1,008,900	30,000	
諸謝金	2,552,550	2,558,850	△6,300	
負担金・会費	690,000	680,000	10,000	
租税公課	18,000	19,200	△1,200	
手数料	200,400	199,500	900	
保険料	93,000	93,000	0	
雑費	160,350	178,860	△18,510	
經常費用計	262,980,000	252,150,000	10,830,000	
当期經常増減額	△28,980,000	△28,150,000	△830,000	
2. 經常外増減の部				
(1) 經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	
(2) 經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	
当期經常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△28,980,000	△28,150,000	△830,000	
一般正味財産期首残高	149,283,987	150,933,987	△1,650,000	
一般正味財産期末残高	120,303,987	122,783,987	△2,480,000	
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	
一般正味財産への振替額	△4,000,000	△4,000,000	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	10,838,086,600	10,838,086,600	0	
指定正味財産期末残高	10,838,086,600	10,838,086,600	0	
III 正味財産期末残高	10,958,390,587	10,960,870,587	△2,480,000	